

Sアミーユ 3人転落死事件を考える

～施設ケアに家族は不要なのか？～

KAIGOワーカーズ交流会とは？

介護の現場に閉塞感を抱いている若い介護職向けに、職場以外に自己のアイデンティティーを確認できる「居場所」を作ることを目的として3ヶ月ごとに交流会を開催しています。



つどい場さくらちゃん
理事長 丸尾多重子氏

今回のゲストは丸尾多重子さん。兵庫県西宮市で介護家族者のつどい場

「つどい場さくらちゃん」を運営されている。介護職として施設で経験した機会浴の入浴介護をみてその非人道ぶりにブチ切れた過去を持つ。身内が年寄り、衰退に向かうお年寄りにどう寄り添えばいいかを示唆してくれる関西の頼れるおばちゃんです。歯に衣着せぬ本音トークが得意。ぜひ一緒にしゃべりましょう。つどい場には最近介護職が泣きにくるそう。なぜなのか？著書は『まじくる介護 つどい場さくらちゃん』、長尾クリニックの長尾医師との共著『親の「老い」を受け入れる』等。

つどい場さくらちゃん 西宮市今在家町1-3 TEL/FAX 0798-35-0251
月～金(10時～17時) 利用料金500円(昼食代は別途500円)

☆☆☆

日程：平成28年5月22日(日) 14:00～16:30 (受付13:30)

会場：神戸三宮センタープラザ西館6階貸会議室

定員：15名(参加申込者が多ければ増員します)

参加費：1000円(学生は無料) *会後の懇親会費は別途4000円

ゲスト：つどい場さくらちゃん理事長 丸尾 多重子氏

申し込み：①CS labのサイトKAIGOワーカーズ交流会申し込みフォームか②右のQRコードより申し込み下さい



参加申し込み先

概要：Sアミーユ川崎幸町で3人の入所者が転落死した事件。事件に関与したとされる容疑者が逮捕されSアミーユの内部の介護体制についてもある程度の情報を知ることができますが、入所者の家族の声はほとんど聞かれません。ここでは見方を変え「**家族が施設ケアに適切に関わっていれば、あの連続転落事件は防げていたのではないかと**」を仮説として設定し、検証します。

家族はケアサービスをどのように捉えていて、私たち介護従事者はどのような「サービス」を提供していけばいいのか？家族の施設ケアへの関わりについて考えます。現場が在宅の人もぜひご参加ください。